吉野芳子

災害に強いまちづくり―新設防災センターのふだんの使い方

問 ①ふだんは会議室の災害対策本部を2階に置き市民使用も②施設間連携のための道路の確保を③避難所周辺生活道路の安全点検プロジェクトを。

答 ①多角的な検討の結果3階とした。会議の内容に応じ有効利用したい②都や建設業協会等と連携し障害物を除去する③各種団体等を通じ危険箇所や安全箇所を把握していく。

中学校給食の二度目の失敗は許すな―確実な検証と市民参加を

問 ①暫定的ボックスランチの業者選定手順②年間の経費は③望まれる給食とは④十分でなかったと指摘された市民参加の場の設定は⑤自校式小学校給食と同等のものの実現は。

答 ①プロポーザル方式で選定②22年度は約7800万③安全・安心で質の向上を目指す④旧七小跡地利用の市民参加で意見等しんしゃく⑤課題整理した時点で再検討予定。

行政は子供・若者を守り支えるセーフティネットの役割を果たせ

問 ①ひきこもり支援事業の現状と課題②特別支援教育コーディネーター体制③支援の質の確保④給食の放射能測定⑤被曝は少ないほどよい方針だが日光移動教室はどうなのか。

答 ①居場所として家賃補助し、就労など社会復帰へつなげる②各校1名③学校体制で対応を指導・助言④サンプル抽出し測定⑤事前に校長会が現地調査し総合的に判断し実施。

アリバイづくりといわれない市民参加の実現―パートナーシップ協定

問 ①市民参加と市民協働に関する審議会のアンケートでわかったこと。②三鷹市は基本構想・基本計画策定時に市と市民が対等に議論する等含め協定を結んだが市の考えは。

答 ①審議会等の運営の評価が上がってはいない項目もあった。市民委員に配慮した工夫を引き続き行い、改善に努めたい。②参考となる事例と認識している。

辻村ともこ

コミュニティサイクル導入検討について

問 ①環境部門創設時期は。②環境からまちづくりまで広範囲に有効なコミュニティサイクルの社会実験導入に取り組む自治体がふえている。当市でも研究できないか。

答 ①定員適正化計画に基づき既存組織の一部見直しを進め、環境施策の推進に取り組む。②ニーズ、効果、実現可能性など探っていきたい。

矢野市長の国旗に対する考え方は、子供に悪影響ではないか

問 ①六小記念式典で国旗に礼をしなかった理由は。②教育の場で、子供の手本となる公人として問題では。③子供たちへ自身の態度をどう説明するのか。④教育長の所感。

答 ①式典の趣旨を理解し祝意を述べている②児童生徒は人権や多様な考えを認め合う教育を受けている③礼の強要は政府国会答弁さえ無視するもの④学習指導要領に基づき指導。

駅前三角地の取り組みについて

問 ①6月22日の説明会ではいきなり開発説明がされ簡単過ぎ問題。施設管理者は決まっているか。②利用価値の高い一等地だが近隣住民を一軒一軒回るなど丁寧な説明はあったか。

答 ①市民活動支援センターについては選定したが、総合的な運営については今後検討。②近隣住民への説明については不足していたことがあるのではないかと感じている。

浅野和男

狛江市の土木予算の大幅削減による、道路整備のおくれについて

問 市長就任の平成8年土木費の歳出割合は30%、22年度は6・7%。過去15年間で減少した。市長はこの業界に対して特別の思いを持っているのか。

答 土木費30%は全国的にも異常に高い比率。それを削るなというのは、当時のやり方を肯定することになる。また現在の数字は小泉構造改革でカットを余儀なくされたから。

多くの指標が、総合基本計画で適切でないことについて

問 狛江市総合基本計画において、経常収支比率の5年後目標を26市中10位にするとあるが、相対評価は他力本願でもある。なぜ市は確固とした目標値を持って努力しないのか。

答 地方財政制度も不透明で経済情勢も深刻な中、将来出率を何%と明示するのは困難。自治体として自立・発展する上で多摩地区中位程度の財政力が必要と考え10位と設定。

孤独死ゼロは市長公約だが、毎年孤独死が発生していることについて

問 市長は孤独死ゼロを4つの公約にしているが、市長公約を実現するため、孤独死を予防し、及び孤独死発生後、家族・病院等への対応マニュアルは作成されているか。

答 対応マニュアルはない。

小川克美

子育て支援について

問 ①航空計器跡地の新設保育所が白紙になったが、新たな対応策は。②打ち切りとなっている幼稚園保育料補助金の復活をすべき。③不妊治療にも狛江市独自の補助を求める。

答 ①現行の保育計画に沿って待機児解消を図る。②都の制度に基づき整理をした。復活は考えていない。③他自治体での事例等を調査・研究していく。

矢野市長の政治姿勢について

問 ①国の動向が不透明な中、より一層の歳入確保と歳出削減をすべきであるが。②矢野市長には市長みずからトップセールスをするといった考えがあるのか。

答 ①滞納処分の強化、口座振替の利用促進により歳入確保に努める。②私が動く場面は当然あるが、市政の方向づけ、職員掌握と指揮・監督に責任を果たすのが市長の本来的役割。

石井功

自転車の問題について

問 ①狛江市交通安全計画(案)では自転車利用者の指導取り締まりを強化しますとあるがどのように取り締まるのか。②現在狛江駅前には何台分の駐輪場が整備されているのか。

答 ①具体的な指導・取り締まりは警察署が主体となって実施。②民間運営4ヵ所、無料駐輪場1ヵ所、合計398台。

行政評価について

問 ①現在狛江市で行われている行政評価はどのようなものがあるのか。②今まで行った事務事業評価は事業の改善にどの程度寄与したか。余り寄与した実感を感じられないが。

答 ①現状「施策評価」と「事務事業評価」を行っている。②一定程度は改善が行われてきたと認識する。直接成果として、特に行政以外の方には見えにくいことも確かである。

須田繁美

地域防災計画について、消火困難地区と清水川周辺の問題

問 清水川跡地整備で、消火困難地区解消のために防火水槽、防火井戸、マンホールトイレの設置、緊急車両の対面通行確保を市民から要望があるが、どのように反映できるか。

答 防火水槽、防災井戸、防災倉庫、マンホールトイレ等は計画に取り込む。道路については基本的に管理用通路で、緊急時には緊急車両等の通行ができるように考えている。

放射能汚染、特に外部被曝と内部被曝について狛江市の対応は

問 ①いつから放射線測定を開始したのか。小・中学校、保育園の安全性に問題はないのか。②給食の食材による内部被曝が心配だが食材の安全性をどう担保するのか。

答 ①6月16日に電研の協力で小中学校10校、保育園6園、市役所1ヵ所を測定。②食材の放射性物質検査と情報把握に努め、より安心安全な食材の使用を各小学校長等に伝えた。

谷田部一之

商店街振興施策推進について(パート2)

問 ①狛江駅南口荷役運搬駐車場の駐車禁止規制の看板設置は可能か。②市が管理しているエコルマ駐車場を商店街活性化のために活用できるか。③狛江駅南口周辺の水害対策は。

答 ①調布警察署と協議する。②商店街あるいは各商店で駐車サービス券を購入いただき活用いただければと思う。③増補管等の整備。流域対策として貯留・浸透施設の設置。

子供たちが健やかに育ち安心して過ごせるまちづくり(パート2)

問 ①土日のグランドが他市より取りづらい、施設利用団体登録の見直しは可能か。②学校内の備品転倒防止対策は。③全中学生の救命講習は可能か。

答 ①各市の状況を調査し研究していきたい。②安全性を確保することから転倒防止の措置をしている。③災害時の救護能力の向上を目指すことは意義があると考えている。

狛江市の学校教育について

問 ①中学校は2期制だが、保護者からは3学期制論も出ている。小中連携から3学期制への見直しは。②学力の二極化が見られたが授業についていけない子に対しての改善策は。

答 ①各校工夫しながら教育活動を行っている。校長会等の意見を聞いていきたい。②ICT機器を活用し内容理解